

県有施設再整備対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>開会 午前 9時58分 平成29年 7月 5日 閉会 午前 11時24分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>第2会議室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委員</p>	<p>委員長 猫田 孝 副委員長 小川 恒雄 委員 藤 墳 守 足立 勝利 山本 勝敏 高木 貴行 加藤 大博 水野 吉近 長屋 光征 布俣 正也 広瀬 修 若井 敦子</p>
	<p>執行部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>係長 佐橋 誠 主査 田中 美穂</p>	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 県庁舎の再整備について 2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○猫田 孝委員長

ただいまから、県有施設再整備対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、重点調査項目に基づき、「県有施設の再整備」について御協議いただくため開催したものであり、今回は「県庁舎の再整備」について御議論いただく。

それでは、本案件について説明をお願いする。

なお、説明員の出席については、本日の議題を担当する部局を中心に出席いただいているので、あらかじめ、御了承願う。

（執行部 坂口総務部長 挨拶）

（執行部 内木総務部次長 説明）

○猫田 孝委員長

ただいまの説明に対し質疑はないか。

○藤埴 守委員

職員駐車場は、立体駐車場を予定しているのか。

○渡辺県庁舎建設課長

立体駐車場は、職員に限らず、来庁者を含めて駐車できるようにしたいと考えている。

○内木総務部次長

東西道路の北側を中心に職員駐車場として計画し、逆に建物に近い南側を来庁者用とするよう計画している。

○藤埴 守委員

今、公用車は1階にズラッと並んでいるが、あのスペースはどこで考えているか。

○渡辺県庁舎建設課長

現在、ペDESTリアンデッキの下に公用車を駐車しているが、その部分が新庁舎では1階正面玄関となるため、庁舎裏の南側に屋根をかけて駐車できるスペースをつくっていきたい。

○藤埴 守委員

行政棟の南側のことか。

○渡辺県庁舎建設課長

行政棟南側に附属棟を設けるが、そこは浸水対策として機械室を2階以上に設けるため、その1階を活用したり、屋根をかける形で、その左右に公用車を並べる計画である。

○藤埴 守委員

その場合、公用車はどこから出入りするのか。

○渡辺県庁舎建設課長

配置図上、議会棟の東から入っていただくか、あるいは、県民サービス棟庁舎南側の進入口から入る計画である。

○坂口総務部長

資料4の左下に、「公用車車寄せ」とあるところで、裏玄関から入っていただくことができるように考えている。

○藤埴 守委員

北側に東西の屋根をつけるのは、雨の時は良いが、それで薄暗くならないか。

○渡辺県庁舎建設課長

資料3-2において、行政棟の北側で青く塗ってあるところが庇となる。この部分を重厚感あるものでつくってしまうと現在のペデストリアンデッキのように暗くなってしまうので、明るく光を通すもので考えていきたい。

○内木総務部次長

民間事業者を含めた様々な建物の庇の事例をご覧いただいているが、このような形状、色であれば、薄暗くなることは回避できるのではないかということを含め、今後検討していきたい。

○山本勝敏委員

議会棟は半分までしか庇が来ていないが、もう少し東まで伸ばしても良いのではないか。建物の半分で庇が終わっているのは、デザイン的にどうなのか。

○渡辺県庁舎建設課長

ひとまず雨除けということで玄関までの絵となっているが、デザインを含めてまた検討していきたい。

○山本勝敏委員

庇のメンテナンスはどのように行うのか。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

素材としては光を通すものということもあるが、掃除等メンテナンスのために上に登っても割れない材料を選定していくことになると考えている。

○小川恒雄副委員長

議会棟、行政棟、県民サービス棟、警察本部の4棟をつなぐ位置が良く分からない。立面図でもう一度説明してほしい。

○渡辺県庁舎建設課長

外観図において、行政棟下部の青い色合いのものがガラス張りになっており、2階部分の通路で警察庁舎、県民サービス棟、行政棟、議会棟を連結する形で計画している。

○水野吉近委員

建物の中を歩いて移動するのか、建物の外につくる廊下で移動するのかどちらか。

○渡辺県庁舎建設課長

建物の中を歩いて移動することになる。

○長屋光征委員

省エネの色々な方法の中で、給湯室などオール電化とするのか、都市ガスにするのかどちらか。

○渡辺県庁舎建設課長

基本的には電気でもかなうことを考えている。しかし、災害時のため、都市ガスあるいはプロパンガスを引き込むことを検討している。

○長屋光征委員

カフェ、食堂についてもオール電化という認識で良いか。

○渡辺県庁舎建設課長

そうである。

○長屋光征委員

何らかの方法でしっかり考えていただき、対応できるようにしてもらいたい。

○高木貴行委員

資料4の動線に関して、20階ということで移動はエレベーターになるが、エレベーターは現在でも結構待っていて職員には相当な時間ロスだと思うが、検討しているエレベーターの台数はどれほどか。

○渡辺県庁舎建設課長

現在は東西3基ずつのところ、新庁舎では東西4基ずつを想定している。建築基準法上設置の義務がある非常用エレベーターは、基準とされる2基、それとは別に一般来庁者が展望フロアに直行できるエレベーターを2基、想定している。また、附属棟に設備更新等のためのエレベーターを1基設けることになる。

○高木貴行委員

1階から2階だけの来庁者動線が一つあるのは何か。

○渡辺県庁舎建設課長

大会議室を2階に想定している関係で、玄関との距離を考え、足の不自由な方にも配慮して、2階に上がるエレベーターを設ける案をお示ししている。低層部については、どの階に配置するかも含め検討中であり、大会議室の位置によっても、変更させていただくことがある。

○高木貴行委員

エレベーターは、来庁者と県庁職員が同じものを使った方がコストは安いと思うが、職員の方が少し速い、スムーズなものが良いといったことなども考えているか。

○渡辺県庁舎建設課長

エレベーターに関しては、基本的には誰もが乗れることとしている。庁舎内のセキュリティ上、所定の手続きを低層階で行った上でエレベーターを利用していただくということを検討している。エレベーターについては、対象人数や規模などの基準に見合うよう計画し、コストも勘案しながら混雑が生じないように検討していきたい。

○布俣正也委員

行政棟の屋上にヘリポートができるが、設置の考え方は。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

行政棟の屋上に設けるヘリポートの主な目的の一つとして、建物が20階の高層であるため、火災の際の避難を想定して設置するものである。

○加藤大博委員

行政棟のレイアウト図で、1階と20階にそれぞれカフェがあるが、これは机と椅子があるだけなのか、指定管理で何か店舗を入れるのかどちらか。

○渡辺県庁舎建設課長

基本的には、有人でのサービスを想定している。設備等を含めて、参入していただけるよう今後検討してまいりたい。

○加藤大博委員

設備もそうだが、それほど人が来るのかということもある。現在の喫茶も閉鎖してデッドスペースになっているので、本当に必要なものなのかどうかということもしっかりと検討していただきたい。また、県産材のところで木材を使っただけということで大変ありがたいが、集成材だけでなく、できれば無垢材も使っただけきたい。

○水野吉近委員

資料2で、環境・共生のところの、省エネルギー化のアルファベット（BELS、CASBEE）のものは聞いたことはあるが、どれほどすごいものなのか。これを取得することによってどういう効果があるのか。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

上段の記載がBELS、下側がCASBEEである。BELSについては5段階の評価があり、省エネルギーの達成度合に応じ、段階的な評価を星で表している。5段階の評価の中で4つ、上から2つ目を目指すということで、通常の事務所と比較し3割以上のエネルギーの削減を想定したものである。次のCASBEEは、省エネルギーの観点もあるが、それよりも執務環境に主眼を置いたものである。CASBEEも同様に5段階あり、今回はその中で最高ランクのSを目指すということである。よって、二つをあわせ持つと、省エネルギーに配慮しつつ執務環境も良いということになる。

○水野吉近委員

こういうのを取得している具体的なものはあるのか。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

現在、岐阜市役所が建てかえを進めているが、設計段階でSランクと聞いている。

○水野吉近委員

再生可能エネルギーのところで、地下水、雑用水の利用と空調設備で熱を利用というところをもう少し具体的に聞きたい。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

現在も、市の水道ではなく地下水をくみ上げ、飲用に利用している。地下にある熱は一年中安定しており、そこから熱を取り出して利用すると、夏は涼しく、冬は暖かくできる。年間の平均気温のプラス1度くらい、このあたりでいえば、16度くらいの温度のものが取得できるので、これを活用することを想定している。

○水野吉近委員

一部活用するだけか。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

活用の検討をまずはしていくということである。

○水野吉近委員

次に、議会棟は連絡通路が2階でつながっており、よく担当職員に来ていただいてヒアリング等するが、行政棟の7階や19階から来るようお願いすると、1回、2階までおりて来ていただくということになり、また、知事は6階にいるということで、議会中は2階で移動するというだけではロスがあると思うが、そこはどのように考えているか。

○渡辺県庁舎建設課長

現在、行政棟と議会棟は3階でもつながっている。新庁舎では、2階で各棟がすべてつながる。仰るように、2階へおりないと議会棟へ行けないのかということにもなるので、議会棟5階の議場に直接行けるよう連絡通路を設置し、効率的に行き来できるようにということを考えている。

○水野吉近委員

次に、県民サービス棟に入るのは、今、ふれあい会館に入っている岐阜圏域の現地機関だけか。

○渡辺県庁舎建設課長

県民サービス棟については、基本構想で例示をさせていただいたように、7つの現地機関、これは基本的に岐阜圏域の現地機関が中心になると想定している。

○水野吉近委員

警察機能というのは具体的に何をやるどころか。

○渡辺県庁舎建設課長

警察機能については、現在検討中だが、相談機能あるいは会議室、それから一部執務室として2,000平方メートル程度で考えている。

○水野吉近委員

イメージが湧かないが、例えば県警のどこかの部局が入ることか。

○渡辺県庁舎建設課長

県警と協議していくことであるが、もともと県民サービス棟であるので、やはり同じコンセプトで窓口の機能等がふさわしいのではないかとというのがあり、先ほど言った相談機能などの窓口機能といったものを考えている。

○水野吉近委員

総務室長として具体的に何が考えられるのか。

○佐名警察本部総務室長

今のところ、こちらも検討している部分ではあるが、少年相談等といった県民の方が利用しやすいあるいは利用していただかなければならないものかと考えているところである。

○水野吉近委員

今、岐阜グランドホテルでレセプションなどがあるとその都度移動しないといけないので集約したいということであったが、レセプションなど大きい行事は大会議室で行うのか。

○渡辺県庁舎建設課長

大会議室を前提に考えている。式典、シンポジウム、講演会といったものを考えているが、今、既存の大会議室で行っているような行事で活用して稼働率を上げていきたいと考えている。

○水野吉近委員

レセプションとして、立食パーティーを行うような場所はないということか。

○渡辺県庁舎建設課長

基本的には考えていない。

○山本勝敏委員

資料2の左上のところ、電力バックアップを確保ということで、72時間分の燃料ということだが、燃料は何を考えているか。重油なのか、LPガスなのか。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

燃料としては、手の入りやすさや、価格などを考慮し、A重油を候補として考えている。

○山本勝敏委員

大体、重油が多いと思うが、最近LPガスも、パルプという大きいタンクに備蓄しておく可能性もあると思っているが。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

いただいた意見も踏まえて、今後、ガスについても検討してまいりたい。

○山本勝敏委員

資料5の議会棟で、現状東棟と西棟が各3階建てのところ、今後は、合わせて5階建てということだが、委員会室が現状よりも少なくなっている感じがする。実際、面積的には現状と比べてどうか。

○渡辺県庁舎建設課長

総面積でいうと、現在約9,000平方メートルが、約13,000平方メートルに拡大する。例えば委員会室では、この第2会議室が140平方メートル程度だが、200平方メートル程度を計画している。委員会室については常任、特別委員会とあるが、共用できるかたちで有効活用を考えている。

○山本勝敏委員

議員控室は広くなるのか。沖縄県議会だけは特別で、1人1室ずつある。そこまでとは言わないが、他の議会をみると、岐阜県のように島になっておらず、一人一人のデスクが余裕を持って離れている。

○渡辺県庁舎建設課長

トータルでは、控室の面積が現在約600平方メートルのところ、約1,000平方メートルになる。詳細については今後検討していきたい。

○山本勝敏委員

資料6について、前回タイルをたくさん使うようお願いをしたところ、タイルも木材もたくさん使ってもらって感謝している。できれば次回の資料には、「活用可能場所」というところに、「トイレにタイル」などと入れていただければ大変嬉しい。多分資料になくても使ってもらえるとは思いますが、書いてあると安心できるので、よろしくお願ひしたい。

○小川恒雄副委員長

タイルや木材はたくさん使ってもらえるということで良いが、石材は恵那の方に御影などがあるもののいわゆる土木材料が主であり、内装材に使えるものはあっても恐らく量が少ないと思う。したがって、資料に書いてあるとおりにいかないものが出てくると思う。石材については、岐阜県の石材で全てやるには無理があると思う。どうしても無理というものについては、県産材にこだわらず安く強いもの

を使っていたきたい。

○藤墳 守委員

赤坂の矢橋大理石は建築資材を多くつくっている。ただ、全て岐阜県産かというそうはいかない。国会議事堂も矢橋大理石の大理石を使っている。

○小川恒雄副委員長

県産材にこだわるとなかなかない。

○渡辺県庁舎建設課長

コスト面も重要な要素であり、また、全体的に使うのか、あるいはポイントを絞って象徴的に使うのかということもあるので、使い方もよく検討してまいりたい。

○小川恒雄副委員長

昨日、岐阜清流特別支援学校を訪問し、帰りに校内の喫茶店でコーヒーをご馳走になった。今度大垣市にも同様の施設を造ることだが、喫茶店は接客だけでなく、最終的には、「こういうことであつたら自分たちにもできる。」という感じで一所懸命やっていた。将来、新庁舎で「喫茶店をやりたい」と要望があつた場合、現在2箇所を予定している喫茶のうち1箇所くらいは分け与えることは可能か。

○渡辺県庁舎建設課長

活用方法については、今後検討する。

○小川恒雄副委員長

それだけは十分頭に入れておいてもらいたい。

○足立勝利委員

現在進めている計画は将来の人口減少を考慮しているか。

○渡辺県庁舎建設課長

将来県の人口が減少していくことは十分認識しているが、行政需要が、それに連動していくのかという点もあり、現在の職員数や議員数などを前提に検討させていただいている。

○広瀬 修委員

資料2に「再生可能なエネルギーと資源の有効活用」、「太陽光エネルギーの発電等への活用」とあるが、どのようなものができるイメージか。また、本議会において保育所の設置に関して知事答弁があつたが、どの棟に設置するのか。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

太陽光エネルギーの活用としては、太陽光パネルの設置を考えており、議会棟の屋上などを考えている。

○渡辺県庁舎建設課長

事業所内保育所については、設置するとなれば、行政棟に設置する方向で検討している。どのくらいの規模でどういった設備が必要なのかなど、現在、担当部局と調整中である。

○布俣正也委員

温室効果ガスの削減について、現庁舎と比較し新庁舎は何%削減できるという具体的な数字はあるか。

○伊藤県庁舎建設課県庁舎建設管理監

B E L S の基準において、一般的な事務所ビルに求められる3割以上の削減を目指している。なお、現庁舎は相当の節電に取り組んでいるため、3割程度の削減がされている。新庁舎の削減目標については、節電の取組みを行わない場合でも3割以上の省エネが達成できる機能を持った設備の導入等を考えている。

○若井敦子委員

危機管理機能の充実について、常設の災害対策本部スペースや500人規模の災害対応関係者が情報共有や連携可能なオープンスペースを確保するとあるが、具体的にどこになるのか。

○渡辺県庁舎建設課長

行政棟4階の危機管理フロアということになる。災害対策本部、外部要員のスペースや災害情報集約センター、執務室を想定している。有事の際に必要な危機管理対応スペースとして、500人規模が一堂に会することができる面積をワンフロアで確保できるよう考えている。

○若井敦子委員

C A S B E E の最高ランクを目指すということだが、どういうことか。

○伊藤県庁舎建設課長

C A S B E E には省エネルギーの観点と執務環境としてすぐれているかという観点の2つの評価の視点がある。各視点100点満点で評価され、さらに省エネルギーを分母の係数に執務環境を分子として評価される。省エネルギーを達成しながら執務環境を向上することを表すレベルとして、Bランクだとおおむね1.0程度であるのに対して、その3倍程度を目指すのが最高ランクのSである。

○長屋光征委員

要望だが、執務環境の話で、現庁舎では議会棟も含めて昼休みは消灯する。そのため全体的に暗く感じるし、職員も暗い中で昼食をとっている。省エネの重要性は理解するものの、新庁舎はLEDを導入するとは思いますが、なるべく明るくしてほしい。職員も明るい場所で昼食をとれるように考えていただきたい。

○山本勝敏委員

新庁舎では、5階と7階以上が執務フロアで6階が幹部・応接フロアとなっている。執務フロアに挟まれて知事がいる幹部・応接フロアが配置されるのには特段の理由があるのか。議会棟5階に行政棟との連絡通路があるので、幹部・応接フロアは5階の方が行き来しやすいと思う。東京都議会は議長席の上方に円窓があり、その窓は、都庁舎の知事室の円窓と同じ高さに設置され、議会機関と執行機関の二元代表制を象徴していると聞いた。岐阜県の場合、現在も議場が議会棟3階で県幹部が行政棟4階なのでそれを踏襲しているだけなのか。それとも、知事フロアが6階に配置されていることに何か意味があるのか。

○渡辺県庁舎建設課長

有事を想定して、通常の県民サービス機能を障害しない範囲で危機管理フロアを極力低層フロアに置くということで4階としている。加えて、幹部も含めた執務室については、現在のフロア構成などを参考に検討した結果、このような配置となっている。

○小川恒雄副委員長

建設予定費500～550億円の中に国費は入らないのか。

○渡辺県庁舎建設課長

現状は基金と一般財源、県債を財源と考えている。充当可能な国庫補助金や外部資金の有無についてはこれまでも継続して調査している。市町村に対しては耐震工事に係る国補助金があるが、県庁舎には使用できない。引き続き充当可能な有利な財源がないか調査を続ける。

○小川恒雄副委員長

県に充当できるか不明だが、先日総務省関係で、複数の建物の機能を集約し、新たに建物を建築する場合に建物が減った分に対して充当できる補助金があるといった説明を受けた。県の場合は該当しないと考えたほうが良いのか。

○渡辺県庁舎建設課長

災害時に最前線の拠点となる市町村が中心となるものと理解している。県として使えないか、既存の制度も含めてしっかりと調査する。

○小川恒雄副委員長

たとえ1割でも補助金をもらえればいいが。

○水野吉近委員

議会棟のレイアウトも具体的になってきた。委員会室をどのようにするかなどについて、全議員からの意見聴取の方法について、ここだけ決めてしまうのか。本テーマは議長から諮問を受けてやっているのも良いとは思いますが、スケジュールを見ると実施設計も来年度には策定されるということなので、委員会室のあり方など具体的な議論をしておいた方が良くと思う。

○猫田 孝委員長

意見もないので、これをもって委員会を閉会する。

県有施設再整備対策特別委員会配席図

平成29年7月5日
午前10時から
第2会議室

入口側

幸畑 財政課 管理監	小島 管財課 県有施設 管理監	伊藤 県庁舎建設 管理課 管理監	長屋 女性の活躍 推進課長	篠田 公共建築課長	新海 防災課 地域防災 支援監	竹中 教育財務課 教育施設 整備監	田中 議会事務局 総務課長	森 総務課管理 調整局 調整監
------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------	--------------	--------------------------	----------------------------	---------------------	--------------------------

(正) 渡辺 財政課長	中根 管財課長	(幸) 渡辺 県庁舎建設 課長	内木 総務部次長	坂口 総務部長	石原 副教育長	林 教育財務課長	佐名 総務室長	小池 装備施設課長
----------------	------------	-----------------------	-------------	------------	------------	-------------	------------	--------------

